

採用担当者はオープンソースのプロフェッショナルを求めている

- オープンソース・ジョブズレポート2020



- 採用担当者の81%がオープンソース人材の採用を優先すると回答
- 採用担当者の56%が、今後6ヶ月以内にオープンソースプロフェッショナルの採用を増やすことを計画しています。
- 採用担当者の57%が、認定資格者の採用を優先すると回答し、2018年の47%から大きく上昇
- 雇用者の80%が、従業員がオープンソースソフトウェアを学ぶためのオンライントレーニングコースを提供していると回答しています。
- 採用担当者の62%が資格取得者を採用する可能性が高く、2018年の47%から増加しました。
- 採用担当者の93%が、オープンソースのスキルを持つ十分な人材を見つけることが困難であると報告しています。

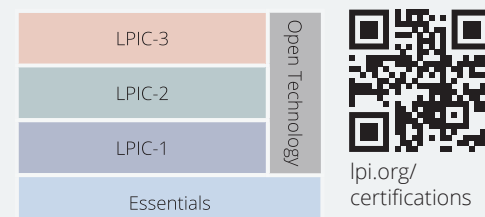
Linux Professional Institute (LPI)

認定資格は、スキルがあることを主張するのではなく、それを証明するものです。

証明された資格は、履歴書の山の頂点に立ち、採用担当者のホットリストに載ります。もちろん、人事部のファイアウォールを通過する最短の方法であることは言うまでもありません。LPIのベンダーニュートラルな認定資格は、オープンソースソフトウェアの多用途性を示しています。これらの資格に合格すると、特定のベンダーの技術に制限されることなく、複数のオープンソース技術を扱うことができるようになります。仕事で経験する環境を反映させることができます。

私たちは詳細な試験目的を提供しているので、試験準備の時間をより効率的に使うことができます。また、LPIの認定資格は5年間有効であり、他の資格よりも長い有効期間を有しています。LPIは、世界中のプロフェッショナルを認定しています。LPIは、国際的に認知された標準であり、世界中で求められるスキルを身につけ、キャリアを積むことができます。

LPI認定資格一覧を見る



LPIは非営利団体です

Linux Professional Institute (LPI) は、オープンソースプロフェッショナルのためのグローバルな認定基準およびキャリア支援組織です。20万人以上の試験保有者を擁する、世界初かつ最大のベンダーニュートラルなLinuxおよびオープンソースの認定機関です。LPIは、180カ国以上でプロフェッショナルを認定し、多言語で試験を実施し、数百のトレーニングパートナーを擁しています。私たちの目的は、オープンソースの知識とスキルの認定を普遍的に利用できるようにすることで、すべての人に経済的・創造的な機会を提供することです。

Linux Professional Institute Japan

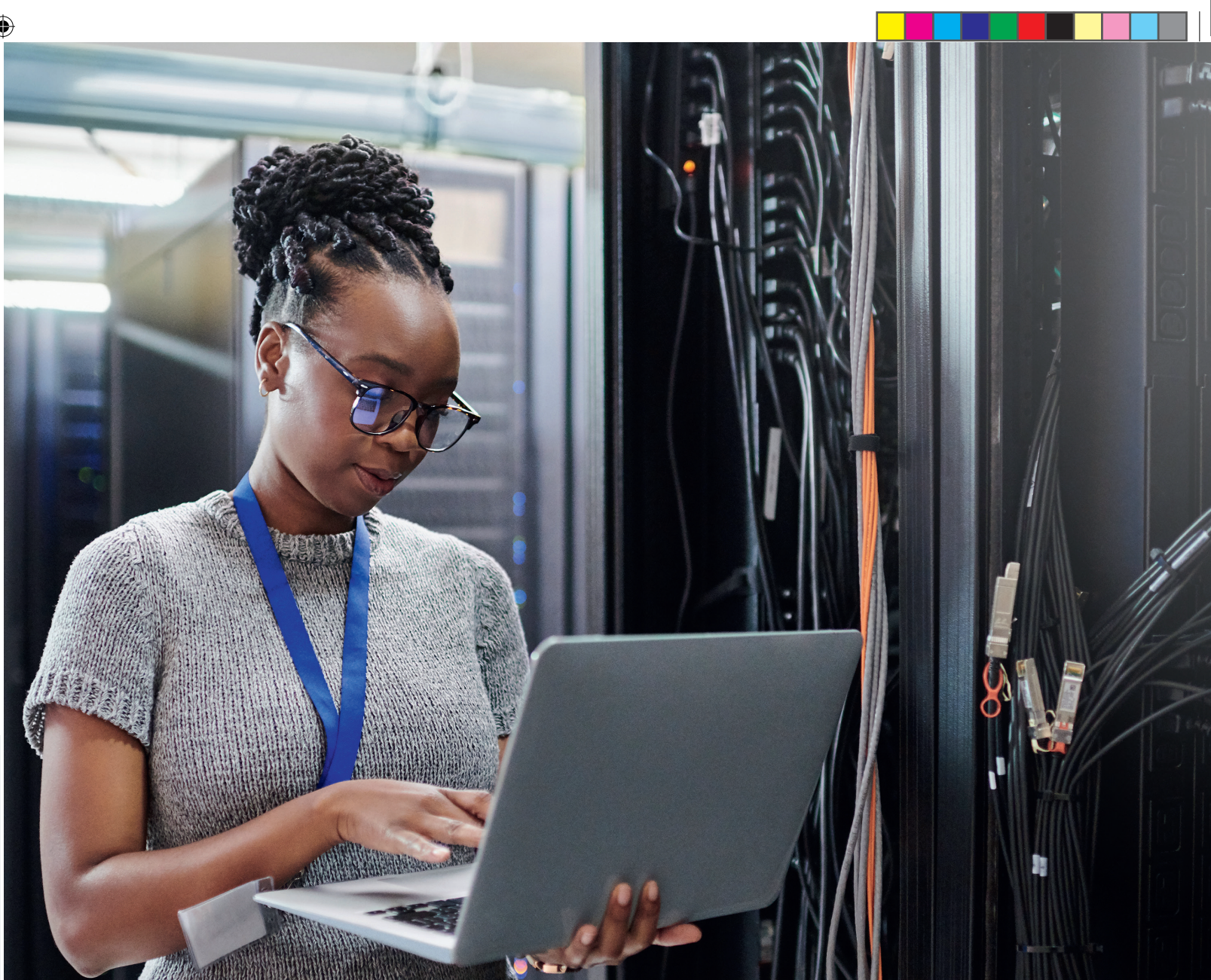
Linux Professional Institute (LPI) 日本支部

☎ 03-5826-8491 ✉ info-ja@lpi.org

🌐 www.lpi.org/ja/

📘 www.facebook.com/LPIConnectJA/

✂ x.com/LPIConnectJA



LPI C-2

Become a certified Linux Engineer

Linux Professional Institute (LPI) 認定を受けたプロフェッショナルは、仕事においてより良い成果を上げています。より高い報酬の仕事を得て、キャリアを向上させ、より多くの選択肢、柔軟性、スキルのポータビリティを得る可能性が高くなります。これは、LPIがオープンソースプロフェッショナルのための世界的な認定基準およびキャリア支援組織であることを考慮すれば、驚くことではありません。



Linuxの認定資格を取得する Engineer

LPIC-2 は、Linux Professional Institute が提供する マルチレベルの Linux Professional 認定プログラムの 2 つ目の認定資格です。LPIC-2 は、混在するネットワークを設計および管理する能力を検証するものです。

LPIC-2 認定を受けるには、次の条件を満たす必要があります。LPIC-1 認定を受け、201 と 202 の両試験に合格する必要があります。

201と202試験は、英語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語（現代）、日本語で実施されます。LPIC-2に合格するためには、次のことが必要です。

中小規模サイトの管理、LAN サーバ (Samba、NFS、DNS、DHCP、クライアント管理)、インターネット ゲートウェイ (ファイアウォール、VPN、SSH、Web キャッシュ/プロキシ)、インターネットサーバ (Web サーバとリバースプロキシ、FTP サーバ、メール) などの小規模な混合 (MS、Linux) ネットワークの計画、実装、保守、一貫性、セキュリティ、トラブルシューティングなどができる。



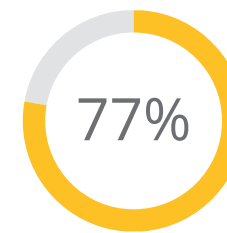
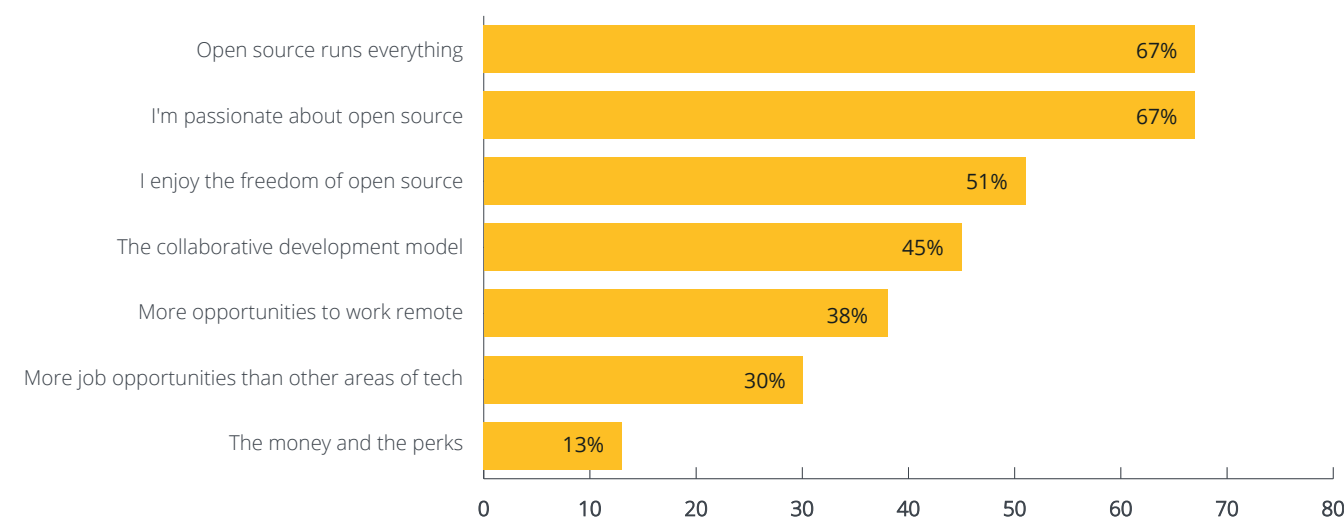
合格者は、アシスタントを監督することができ、また自動化や購入について経営陣に助言することができます。LPIC-2 認定資格を取得するには、LPIC-2 201 と LPIC-2 202 の両方の試験に合格する必要があります。

LPIC-2認定資格で取得できる仕事。

- ネットワーク管理者
- エンタープライズサーバーエンジニア
- QAエンジニア
- システムプログラマー
- アプリケーションプログラマー
- データベース管理者 (DBA)
- プログラマー / アナリスト
- システムアーキテクト

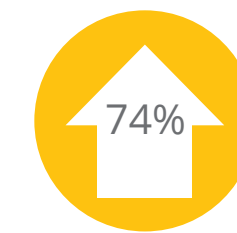
プロフェッショナルがオープンソースのキャリアを選ぶ理由

- オープンソース・ジョブズレポート2020



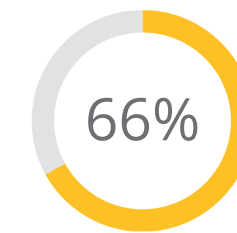
認定を受けた人の77%が6ヶ月以内に昇給しています。

- ピアソンVUEの価値
IT資格レポート2021



調査対象となった採用担当者の74%が資格取得にお金を払う意思があると回答しており、2018年の55%から大きく上昇しました。

- オープンソース・ジョブズレポート2020



IT マネージャーの 66% が、IT 資格を持つ社員はより質の高い仕事をすると回答しています。

- ピアソンVUE バリュー・オブ
vviT認証取得者レポート2021



LPIC-2試験201トピックス



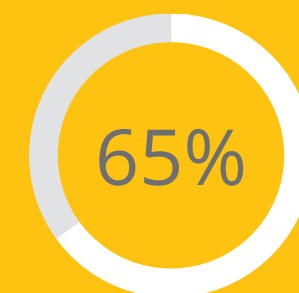
200: キャパシティプランニング
201: Linuxカーネル
202: システム起動
203: ファイルシステムとデバイス
204: ストレージデバイスの高度な管理
205: ネットワーク構成
206: システムメンテナンス

LPIC-2試験 202トピックス

207: ドメイン・ネーム・サーバー
208: HTTPサービス
209: ファイル共有
210: ネットワーククライアント管理
211: 電子メールサービス
212: システムセキュリティ

試験の内容を推測で理解する

試験の目的は、試験で出題される可能性のあるトピックと、それらのトピックの相対的な重要性を示しています。Linux Professional Institute (LPI)の試験準備にどの教材を使用するにしても、各試験の出題範囲を確認することは、学習計画の中核となるべきものです。



この3ヶ月で最も高い評価を得た資格は、Linux 関連の資格であった。シスアドの分野では、すべてLinux関連の資格でした。LPIC-2、LPIC-3、Red Hat Certified Systems Administrator LPIC-3、そしてRed Hat Certified Systems Administratorです。

- Foote Research GroupITスキル証明書 給与データ推移 2021年